

ホントはどうなの？勉強会

原子力複合災害編

9月1日は
防災の日

広島市・内閣府・原子力規制委員会などの
公的情報を報告し、勉強します。
巨大地震と原発事故との複合災害について
考えてみませんか。ぜひご参加ください。

南海トラフ 巨大地震と 伊方原発の危険



日時 2025. **8.31** 日 **参加費 無料**
14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)

場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ 北棟5階研修室 A
(広島市まちづくり市民交流プラザ 広島市中区袋町6番36号 082-545-3911)

オンライン ZOOM 参加できます

ミーティング ID: 886 7883 9508 パスコード: 456719

※事前予約は不要です。お名前の表示をお願いします。
音声はミュートにしておいてください。

▼ZOOM アドレス▼



【主催】 伊方原発広島裁判高裁控訴人団
広島からわずか100kmの伊方原発を止める会 (ヒロイカ100)

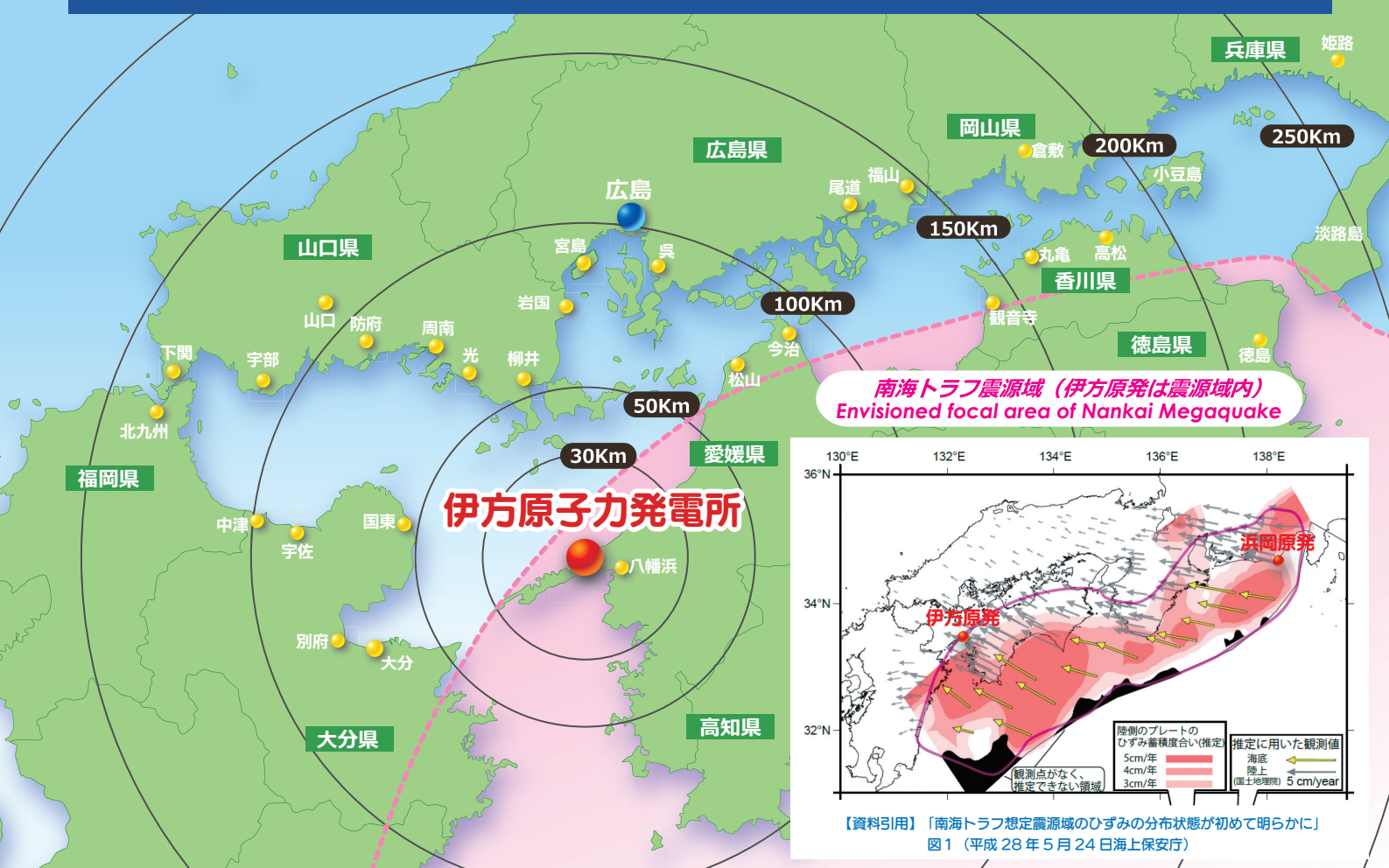
【協力】 原発・放射線リスク研究会

【問い合わせ先】 伊方原発広島裁判事務局 〒731-0232 広島市安佐北区亀山南 2-26-11

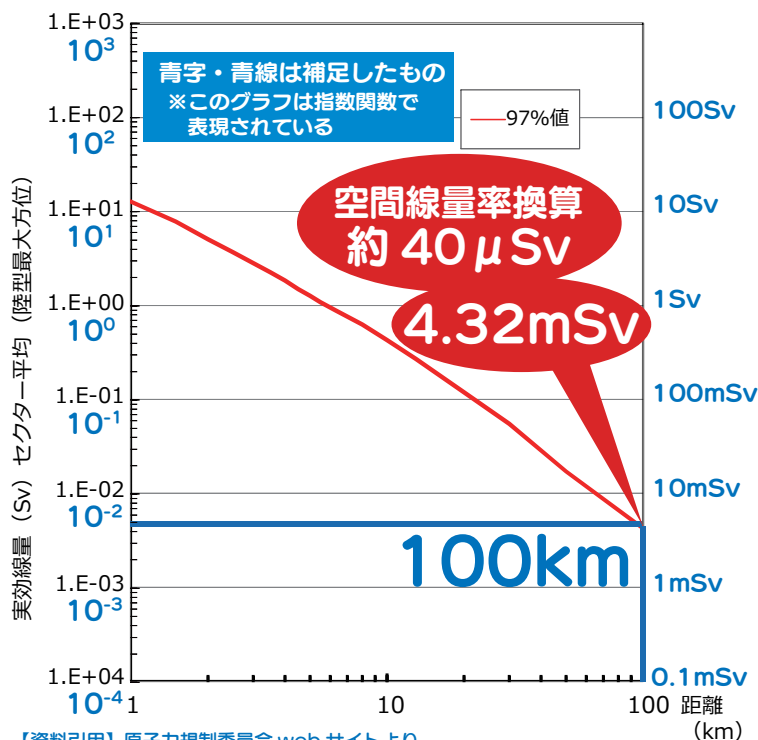
☎ 090-7372-4608

資料1

伊方原発は南海トラフ巨大地震の震源域内に立地 伊方原発から広島市役所までは100km



資料2 原子力規制庁が示した伊方原発苛酷事故時（福島事故並） の1週間の予測被曝線量（実効線量）



100km 地点の広島市役所は

1 週間の予測被曝実効線量 **4.32mSv**

空間線量率に換算すると **約 40 μ Sv/h**

福島第一原発敷地内の原子炉建屋付近で観測される、防護服なしではいられない高線量になり、原子力災害対策指針では「一時移転」の対象となります。同じように左のグラフから各地までの被曝線量を計算したものが以下の表になります。

地点	距離	1週間の被曝線量
呉市倉橋島 (広島県最南端)	63.37km	12mSv
呉市役所	87.65km	5.6mSv
廿日市市役所	95.47km	4.6mSv
大竹市役所	83.57km	6.3mSv
江田島市役所	82.42km	6.3mSv
山口県岩国市役所	75.5km	7.6mSv

【資料引用】原子力規制委員会 web サイトより
「拡散シミュレーションの試算結果について総点検版（2012年12月）」43頁
<https://www.nra.go.jp/data/000024448.pdf>